


JIS

UDC 678.743 : 62-41 : 631

K 6732

農業用ポリ塩化ビニルフィルム

 JIS K 6732 -1996
(2001 確認)

平成 18 年 3 月 25 日付け追補 あり

平成 8 年 7 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 28. 6. 6 改正：平成 8. 7. 1

官 報 公 示：平成 8. 7. 1

原案作成協力者：日本ビニル工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 高分子部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

JIS 規格ご利用者各位

この規格票には、旧 JIS マーク表示制度による旧 JIS マーク(㊄)が付されており、これは、旧制度に基づき JIS マーク表示の対象として指定された品目であることを示しておりましたが、平成 20 年 10 月 1 日からは新 JIS マーク表示制度となり、指定品目制度は廃止されております。

平成 20 年 10 月 1 日

(財) 日本規格協会

正誤票

ページ	位置	誤	正
5	図2中の2か所	引張切断荷重及び伸び試験片	引張切断強さ及び伸び試験片
5	図2	エレメンドルフ引裂荷重試験片	エレメンドルフ引裂強さ試験片
5	図2	直角形引裂試験片	直角形引裂強さ試験片
8	図7	つかみ装置	つかみ具
8	図7		

正

(試験片を下記位置に追加する。)

備考1. この正誤票は、第1刷に対するものです。

2. この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

1996.11 日本規格協会 発行



農業用ポリ塩化ビニルフィルム

K 6732-1996

Poly (vinyl chloride) films for agriculture

1. 適用範囲 この規格は、主に農業用に用いる外張用ポリ塩化ビニルフィルム(以下、外張用農ビという。)及び内張用ポリ塩化ビニルフィルム(以下、内張用農ビという。)について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7753 サンシャインカーボンアーク灯式耐光性及び耐候性試験機

JIS K 6253 加硫ゴムの硬さ試験方法

JIS K 6900 プラスチック—用語

JIS K 7100 プラスチックの状態調節及び試験場所の標準状態

JIS P 8116 紙及び板紙の引裂強さ試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

2. この規格の中で{ }を付けてある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS K 6900によるほか、次による。

- (1) 外張用農ビ 農業用に用いるハウス、雨よけ施設、露地トンネルなどの構造物の屋根・側壁などに被覆する農ビ。
- (2) 内張用農ビ 農業用に用いるガラス室及びプラスチックハウス内で使用する固定内張用、カーテン用及びトンネル用の農ビ。
- (3) ハウス 農ビなどガラス以外の資材で被覆され、人が中に入って作業ができる施設。
- (4) べた付き性 農ビを重ねて置くと互いに密着して離れにくくなる性質。

3. 種類 種類は、農業用に用いる外張用農ビ及び内張用農ビとし、厚さは、表1のとおりとする。

表1 種類(外張用農ビ及び内張用農ビ)と厚さ

種類	厚さ mm
外張用農ビ	0.05, 0.075, 0.10, 0.13, 0.15, 0.20
内張用農ビ	0.05, 0.075

4. 性能 外張用農ビ及び内張用農ビは、9.によって試験を行い、外張用農ビは表2.1に、内張用農ビは表2.2に適合しなければならない。